【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【公表番号】特表2011-517968(P2011-517968A)
【公表日】平成23年6月23日(2011.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2011-025
【出願番号】特願2010-550694(P2010-550694)
【国際特許分類】
Ａ６２Ｃ　2/00　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　18/00　(2006.01)
Ｃ０１Ｂ　31/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６２Ｃ　2/00　Ｘ
Ｂ３２Ｂ　18/00　Ｚ
Ｃ０１Ｂ　31/04　１０１Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成25年3月6日(2013.3.6)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）柔軟な黒鉛化ポリマーシートを含む防火障壁システムを調製する工程、および
（ｂ）前記防火障壁システムを構造体に設ける工程
を含み、
前記黒鉛化ポリマーシートのＭＩＴ耐折強さが１０００回以上である、防火障壁保護材を構造体に設ける方法。
【請求項２】
前記システムは、感圧性の接着層または粘着層が形成された、黒鉛化ポリマーシートを有する自己接着性構造を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記システムは、断熱袋の側面に設けられた、黒鉛化ポリマーシートを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記システムは、断熱材料を内部に含むための積層体を含んでおり、
前記積層体は、層の１つとして、柔軟な黒鉛化ポリマーシートを含んでいる、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記システムは、断熱ブランケットを含んでおり、
前記断熱ブランケットが、該断熱ブランケットの層の１つとして、柔軟な黒鉛化ポリマーシートを含んでいる、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記システムは、積層構造を含んでおり、
前記積層構造が、発泡体の層および防火障壁層を含んでおり、
前記防火障壁層が、柔軟な黒鉛化ポリマーシートである、請求項１に記載の方法。
【請求項７】

前記システムは、積層構造を含んでおり、
前記積層構造が、無機繊維の層および防火障壁層を含んでおり、
前記防火障壁層が、柔軟な黒鉛化ポリマーシートである、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記システムは、積層構造を含んでおり、
前記積層構造が、有機繊維の層および防火障壁層を含んでおり、
前記防火障壁層が、柔軟な黒鉛化ポリマーシートである、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記システムは、積層構造を含んでおり、
前記積層構造が、プラスチックの層および防火障壁層を含んでおり、
前記防火障壁層が、柔軟な黒鉛化ポリマーシートである、請求項１に記載の方法。
【請求項１０】
前記プラスチックの層が、繊維によって補強されたプラスチックの層である、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
前記プラスチックの層が、炭素繊維によって補強されたプラスチックの層であり、
前記防火障壁層が、柔軟な黒鉛化ポリマーシートである、請求項９に記載の方法。
【請求項１２】
前記システムは、積層構造を含んでおり、
前記積層構造が、金属シートの層および防火障壁層を含んでおり、
前記防火障壁層が、柔軟な黒鉛化ポリマーシートである、請求項１に記載の方法。
【請求項１３】
前記システムは、積層構造を含んでおり、
前記積層構造が、断熱紙の層および防火障壁層を含んでおり、
前記防火障壁層が、柔軟な黒鉛化ポリマーシートである、請求項１に記載の方法。
【請求項１４】
構造体に設けられる防火障壁システムであって、前記防火障壁システムは、柔軟な黒鉛化ポリマーシートを含み、
前記黒鉛化ポリマーシートのＭＩＴ耐折強さが１０００回以上である、防火障壁システム。
【請求項１５】
前記黒鉛化ポリマーシートは、
平面方向における熱伝導率が３００Ｗ／ｍＫ以上であり、
厚み方向における熱伝導率が１～２０Ｗ／ｍＫであり、かつ
厚み方向における熱伝導率に対する平面方向における熱伝導率の比率が２０以上である、
請求項１４に記載のシステム。
【請求項１６】
前記黒鉛化ポリマーシートは、ピクチャーフレーム試験において、試験開始後６分にて、３．４Ｗ／ｃｍ^2（３．０ＢＴＵ／ｆｔ２・ｓ）以下のヒートフラックスおよび３００℃（５２７Ｆ）以下の温度を示す、請求項１４に記載のシステム。
【請求項１７】
前記黒鉛化ポリマーシートは、バーンスルー試験において、試験開始後６分にて、３．４Ｗ／ｃｍ^2（３．０ＢＴＵ／ｆｔ２・ｓ）以下のヒートフラックスを示す、請求項１４に記載のシステム。
【請求項１８】
前記黒鉛化ポリマーシートは、ピクチャーフレーム試験において、試験開始後６分にて、黒鉛の背面側で、８．０Ｗ／ｃｍ^{2}以下のヒートフラックスを示す、請求項１４に記載のシステム。
【請求項１９】

前記黒鉛化ポリマーシートは、ピクチャーフレーム試験において、試験開始後６分にて、黒鉛の背面側で、８００℃以下の温度を示す、請求項１４に記載のシステム。
【請求項２０】
前記黒鉛化ポリマーシートの吸水率が、１％以下である、請求項１４に記載のシステム。
【請求項２１】
前記黒鉛化ポリマーシートの気体透過率が、１００．０×10^{6}ｃｃ／m^{2}・日以下である、請求項１４に記載のシステム。
【請求項２２】
前記黒鉛化ポリマーシートの電気伝導率が、１００００ｓ／ｃｍ以上である、請求項１４に記載のシステム。
【請求項２３】
前記黒鉛化ポリマーシートは、ポリオキサジアゾール、ポリベンゾチアゾール、ポリベンゾビスチアゾール、ポリベンゾオキサゾール、ポリベンゾビスオキサゾール、ポリイミド、ポリアミド、ポリフェニレンベンゾイミダゾール、ポリチアゾール、ポリパラフェニレンビニレン、ポリ（ｐ－フェニレンイソフタルアミド）、ポリ（ｍ－フェニレンベンゾイミダゾール）、およびポリ（フェニレンベンゾビスイミダゾール）からなる群より選ばれるポリマーから調製されたものである、請求項１４に記載のシステム。
【請求項２４】
前記黒鉛化ポリマーシートは、ポリイミドポリマーから調製されたものである、請求項１４に記載のシステム。
【請求項２５】
前記黒鉛化ポリマーシートは、難燃性の接着材料または粘着材料によって、基板またはシステム部材に接着されている、請求項１４に記載のシステム。
【請求項２６】
防火障壁保護材を実現する、柔軟な黒鉛化ポリマーシートの利用であって、
前記黒鉛化ポリマーシートのＭＩＴが、１０００回以上である、黒鉛化ポリマーシートの利用。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００９４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００９４】
ピクチャーフレーム（picture frame）試験による評価を、各シートが３１．７５インチ×１７．７５インチのフレームに付着されていることを除き、バーンスルー（burnthrough）試験におけるように実施した。温度の測定を、ＮＥＣ三栄インスツルメンツ社（NEC/San-Ei Instruments, Ltd）製のサーモグラフ（ＴＨ７１－７０７）を用いて行った。